



●この説明書は、必ず組立てされる方へお渡しください。

■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害、軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。

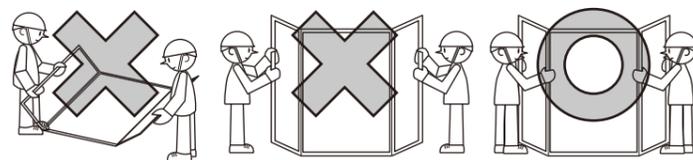
- ・指定個所には必ずコーキング材（別途）を充てんしてください。
- ・連窓方立に張付けてあるシール材は、絶対にはがさないでください。
- ・浴室には使用しないでください。
- ・排水経路を確保するため、下キャップの前面部には、シーリングをしないでください。
- ・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- ・上・下キャップ取付け後、指定個所に防水補助シール（同梱）を張付けてください。

■組立て上のおお願い

- 必ず指定の組立てねじを使用してください。
- ガラス破損防止のため、ガラスは枠を躯体に固定した後にに入れてください。
- 枠連結部に無理な力をかけないでください。枠が変形するおそれがあります。移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。
- 連窓後の取付けは、「連窓方立・角度枠取付け説明書」を参照してください。
- 取付け説明書および取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズ付いたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

■組立て後の取扱いとお願い

- 組立てた後、枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけると枠が変形するおそれがあります。
- 移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。



■部品一覧表

| | | |
|--|--|--|
| | | |
| | | |
| | | |

■組立てねじ一覧表

※図中の①～④はねじの種類を表します。

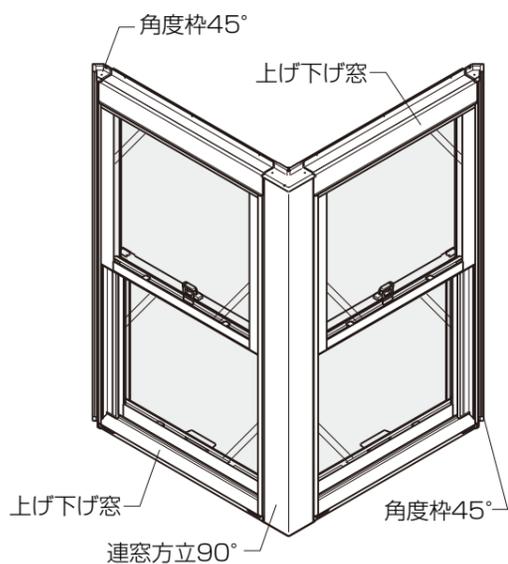
| | |
|---|---|
| ① | ② |
| | |
| ③ | ④ |
| | |

■連窓方立・角度枠の種類

| 連窓方立 | | | 角度枠 | |
|----------|----------|----------|---------|---------|
| 90° | 135° | | 45° | 90° |
| 120° | 164° | 168° | 24° | 60° |

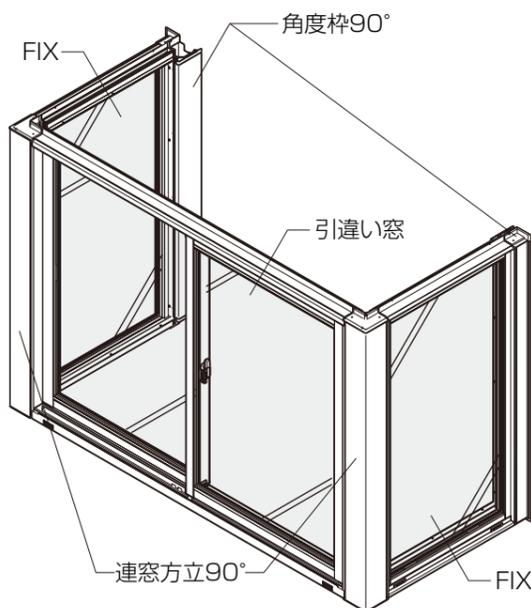
■連窓方立・角度枠の使用例

●連窓方立90°・角度枠45°使用
＜三角形タイプ＞

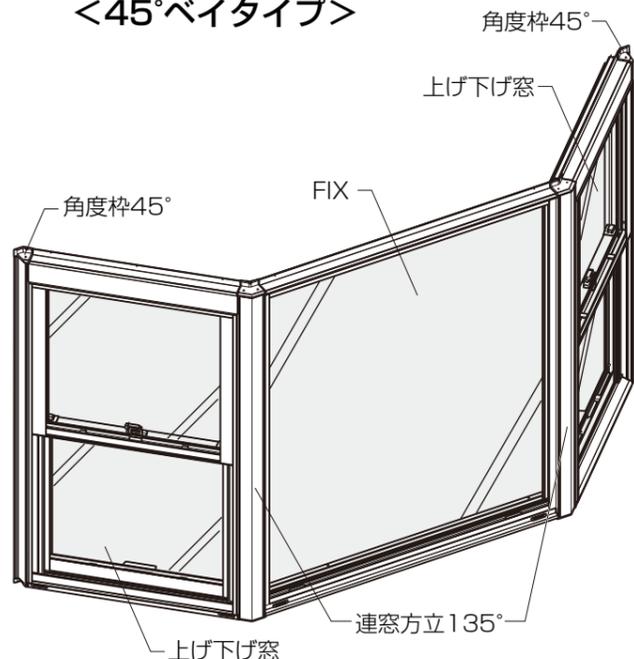


外観図

●連窓方立90°・角度枠90°使用
＜90°ベイタイプ＞



●連窓方立135°・角度枠45°使用
＜45°ベイタイプ＞



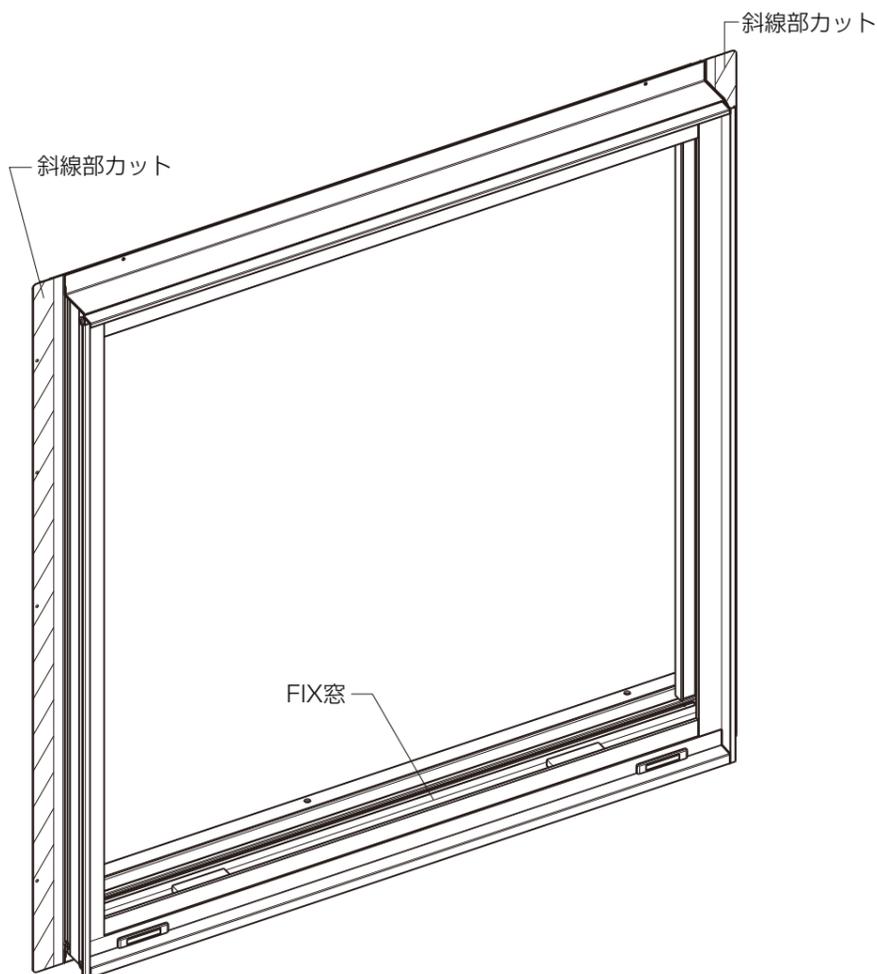
■組立て順序

※キャップは上・下がありますので、ご注意ください。（組立て詳細図参照）

※本説明書では、「使用例＜45°ベイタイプ＞」で説明してあります。これ以外のタイプの組立て要領は同じです。

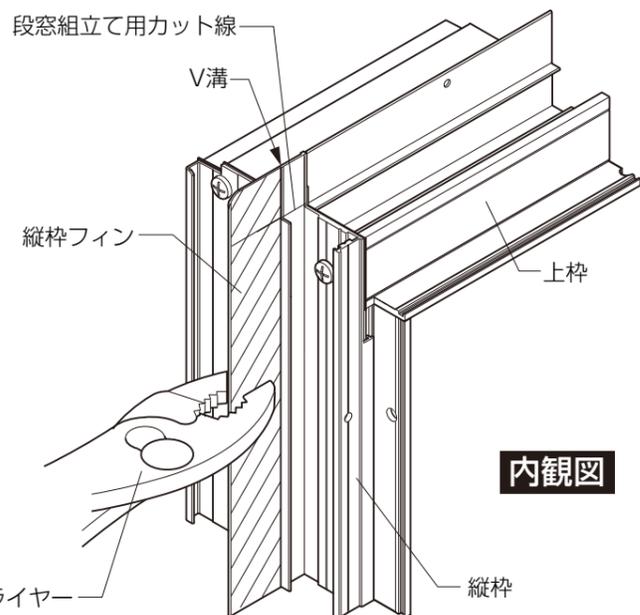
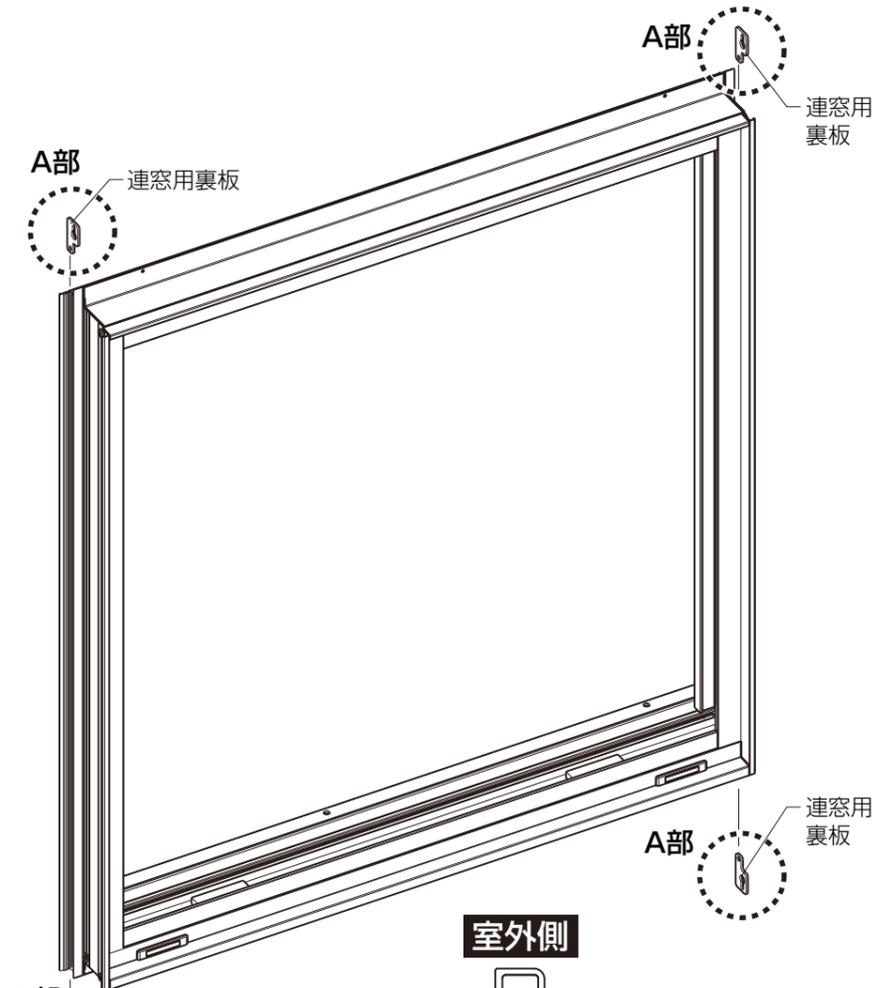
1 左右縦枠フィンのカット

- ① 連結する側の縦枠フィンのV溝にカッターで1～2回スジをつけます。
- ② プライヤーで、斜線部を折曲げながら取ります。

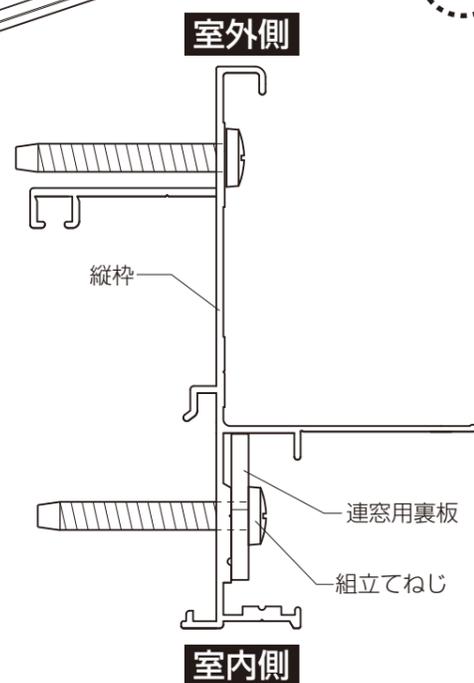


2 連窓用裏板の取付け

- 連窓方立と連結する前に縦枠に取付けてください。
- 連窓方立と連結する縦枠のみ取付けてください。（上・下2カ所）（角度枠側は、取付け不要です。）



内観図



■A部詳細図

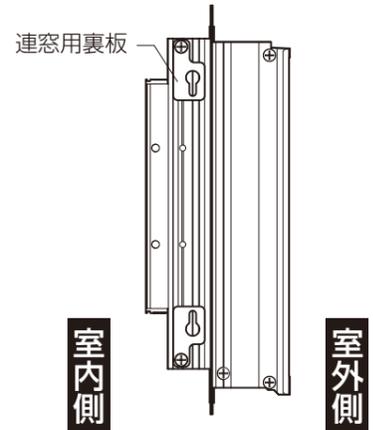
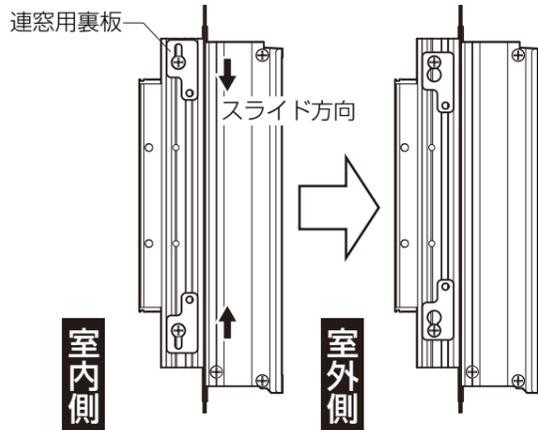
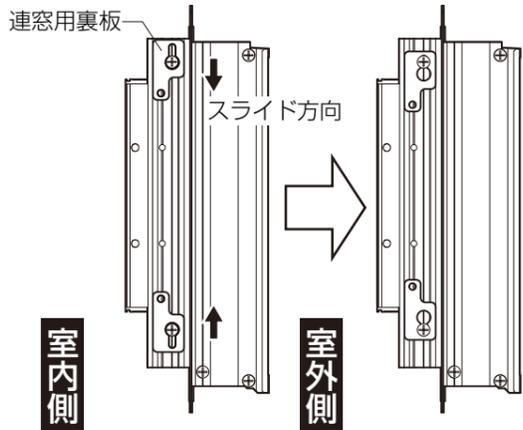
① 枠組立て用ねじを緩めて連結用裏板を図のようにはめ込みます。

② 矢印の方向に連窓用裏板をいっぱいまでスライドさせて、ねじを本締してください。（連窓用裏板は必ず矢印の方向にスライドさせるように取付けてください。）

●組立てねじが室外側によっている場合

●組立てねじが室内側によっている場合

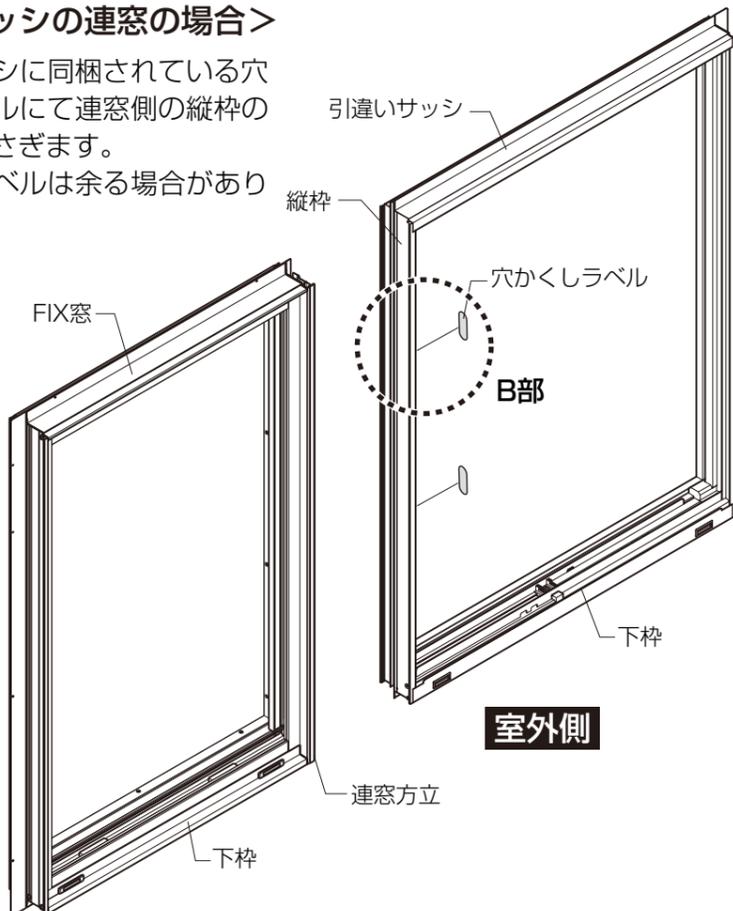
●引違いサッシを連窓する場合



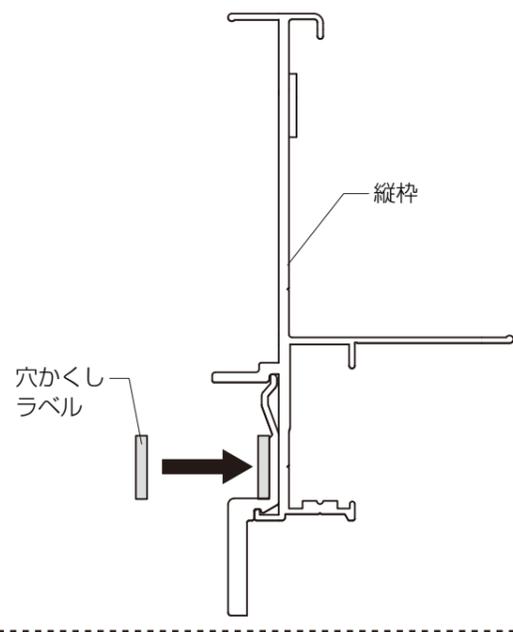
<引違いサッシの連窓の場合>

● 引違いサッシに同梱されている穴かくしラベルにて連窓側の縦枠の固定穴をふさぎます。

※ 穴かくしラベルは余る場合があります。



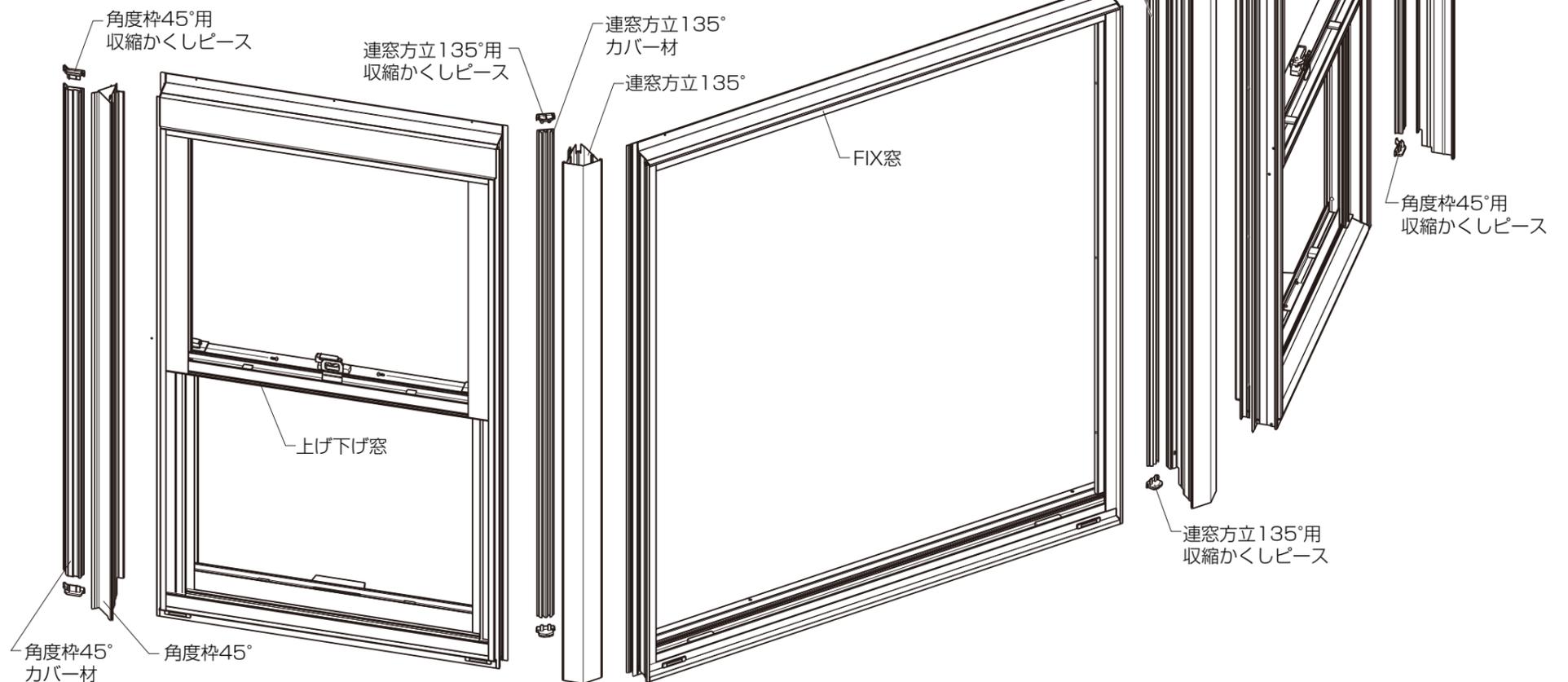
■B部詳細図

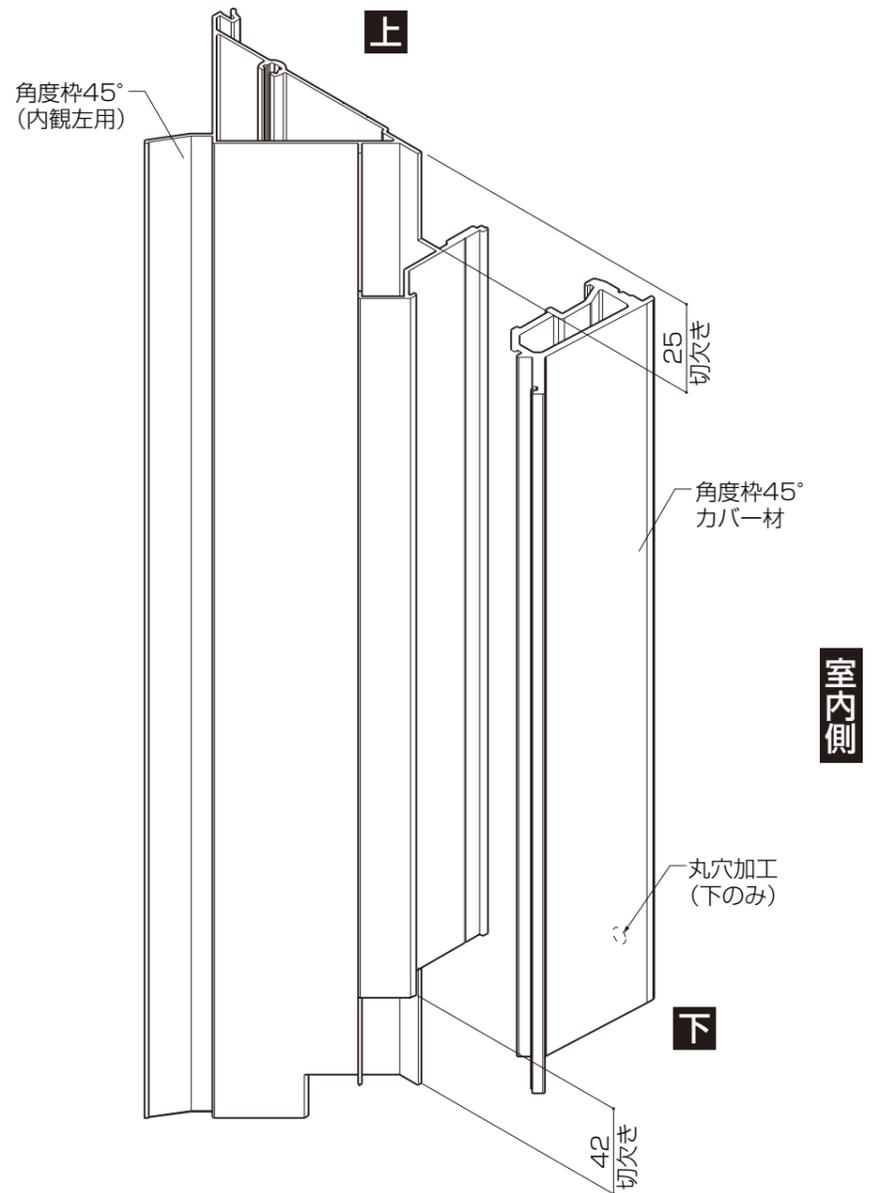
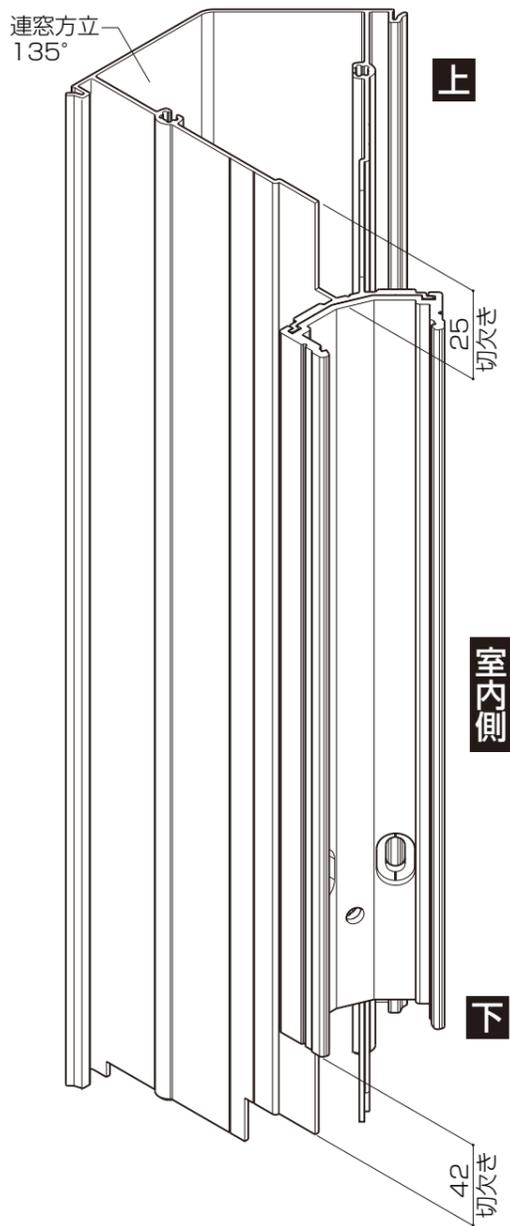


■3 連窓方立と角度枠の連結

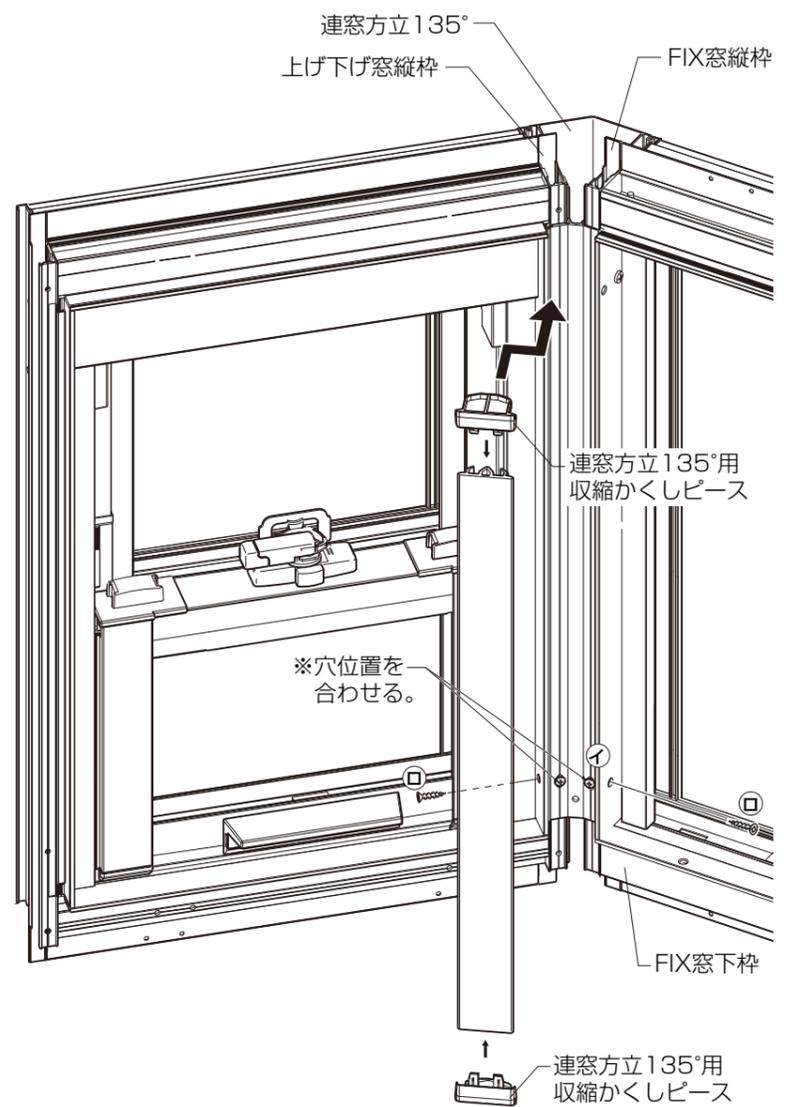
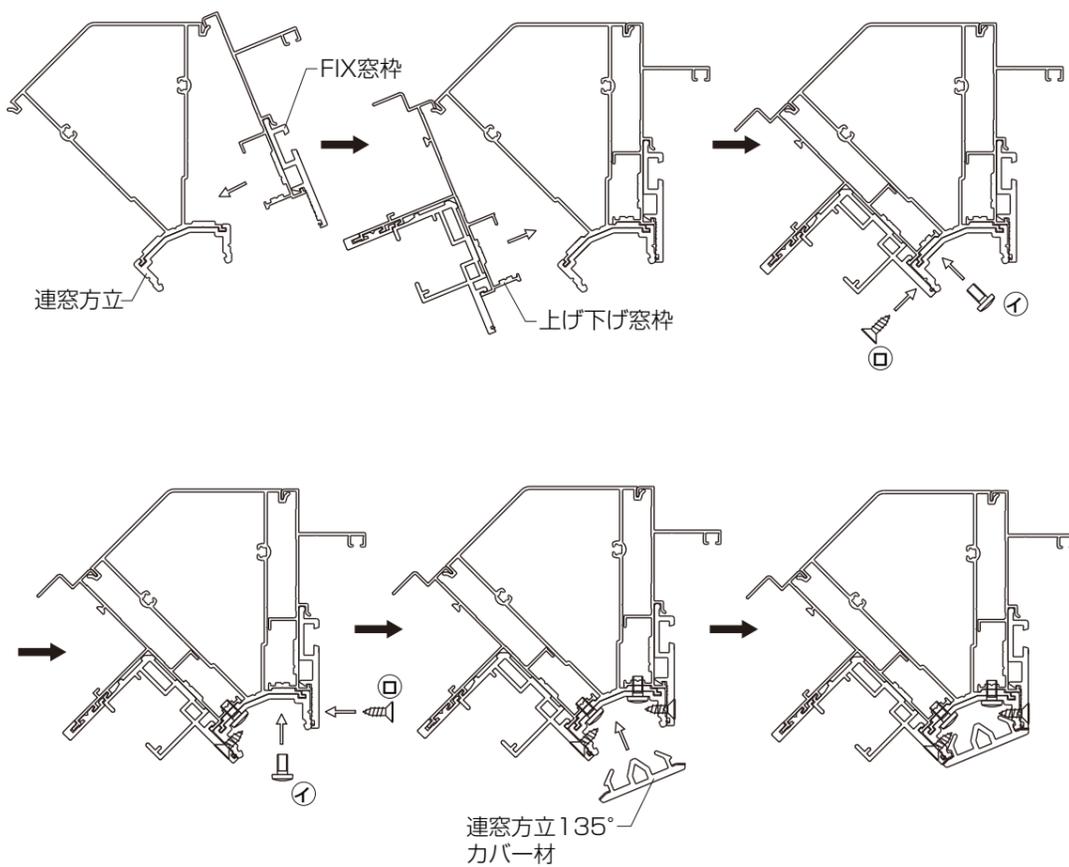
※ 連結前に連窓方立と角度枠を確認してください。

● 角度枠には、上・下、左右があります。組立て前によく確認してください。

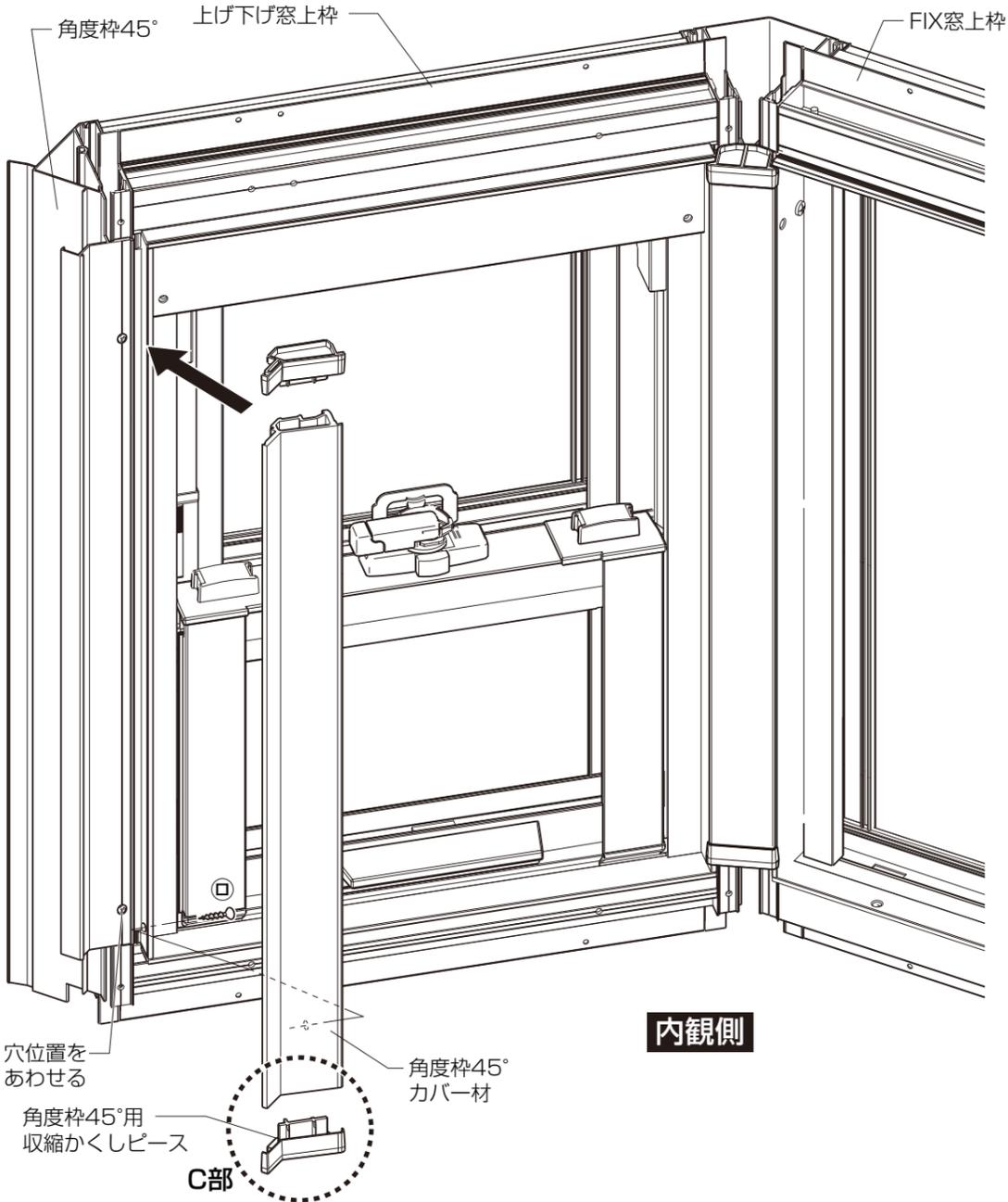
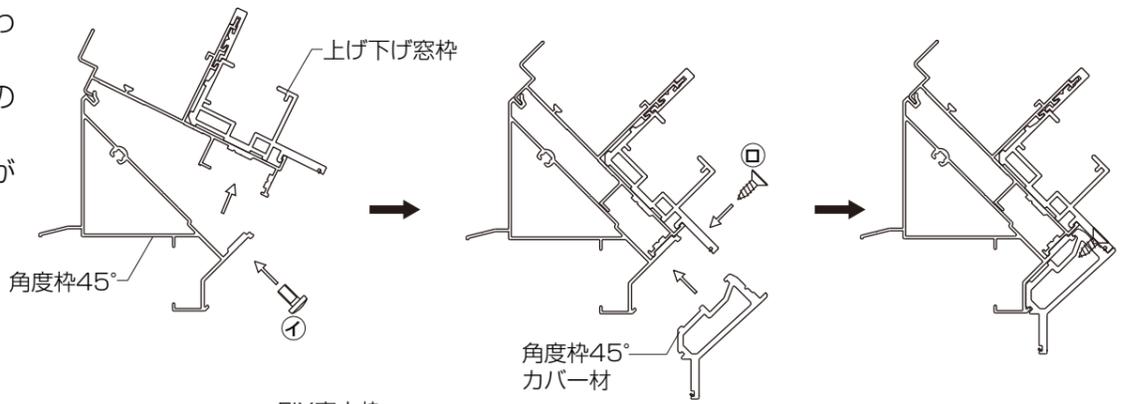




- ①連窓方立をFIX窓枠にはめ込みます。
- ②上げ下げ窓枠を連窓方立にはめ合わせ、下端の穴位置を合わせながら、穴をすべてねじ止めします。
- ③FIX窓枠・上げ下げ窓枠のアンクル部の穴をすべてねじ止めします。
- ④連窓方立135°用収縮かくしピースを連窓方立135°カバー材の上・下に差込み、カバー材を連窓方立に差込みます。

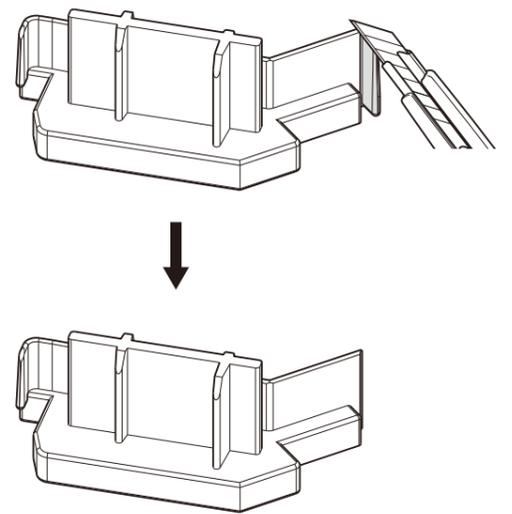


- ①角度枠を上げ下げ窓枠にはめ込み、下端の穴位置を合わせながら穴をすべてねじ止めします。
- ②角度枠45°用収縮かくしピースを角度枠45°カバー材の上・下に差込みます。
- ③カバー材を角度枠に差込み、下端の穴位置を合わせながら穴をすべてねじ止めします。



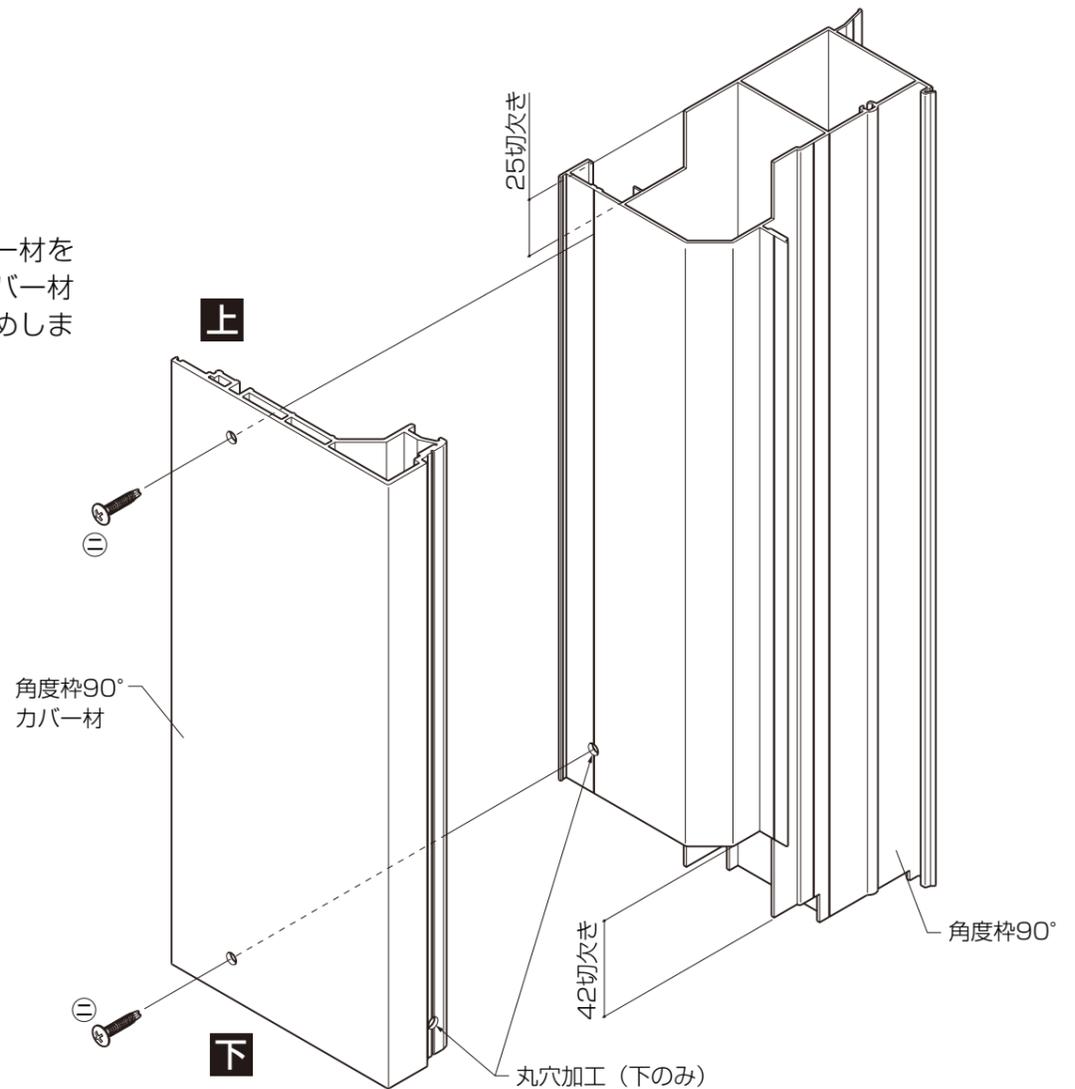
■C部詳細図

※納まりに応じて 部をカッターなどででいねいに切ってください。納まりによっては、ピッタリ合わないことがあります。その場合は、ヤスリなどで調整してください。



<角度枠90°カバー材の取付け>

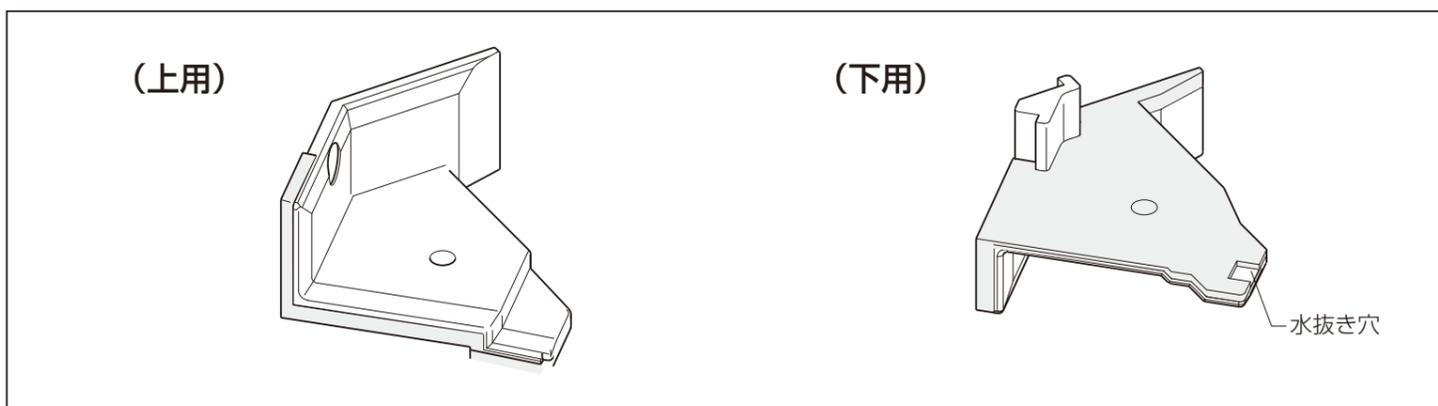
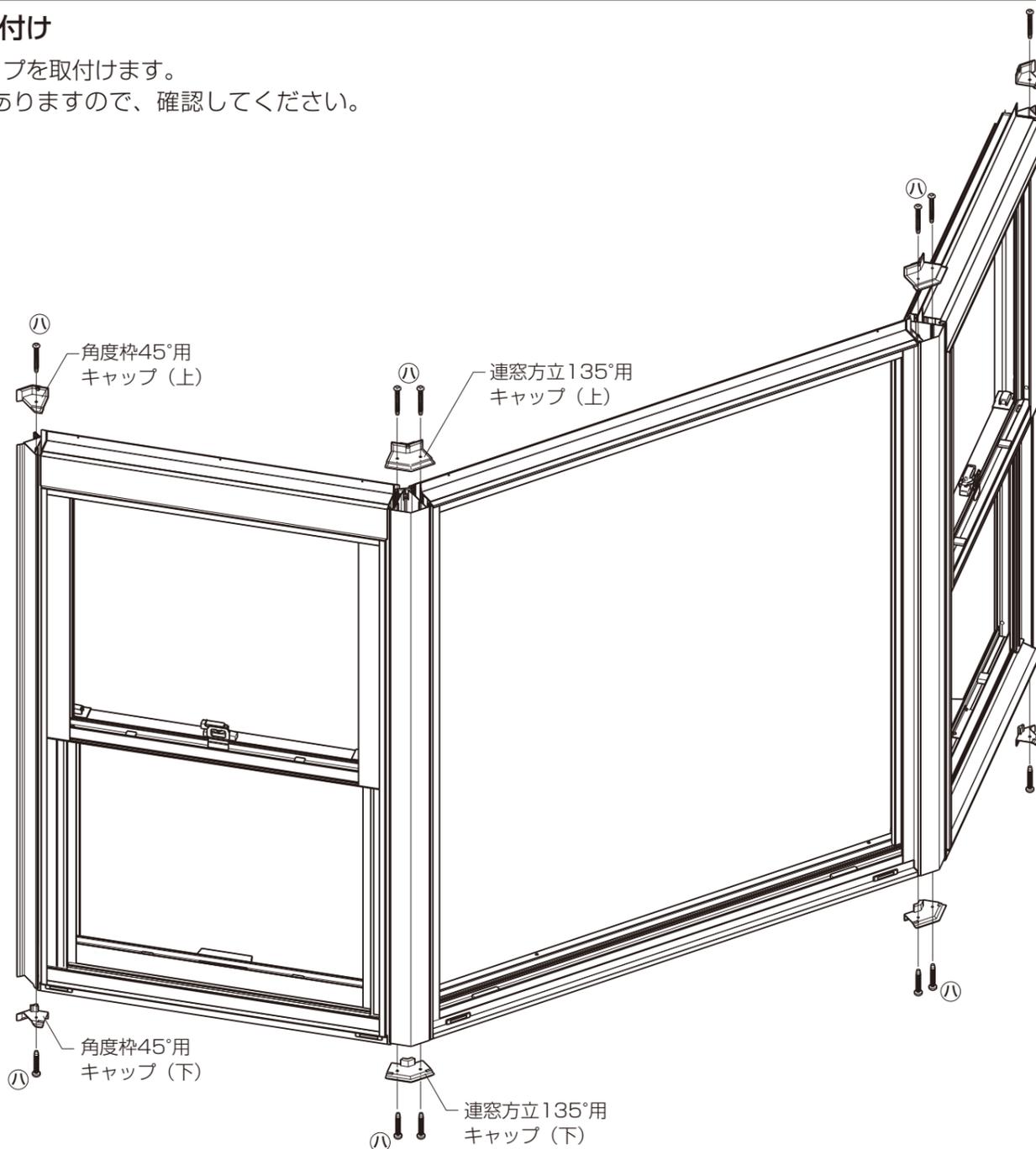
- 角度枠90°の場合のみ、⊖のねじでも、角度枠90°カバー材を固定します。固定するとき、角度枠90°と角度枠90°カバー材の下端の穴位置を合わせ、下端よりすべての穴をねじ止めします。



●上・下キャップの取付け

●連結部の上・下にキャップを取付けます。

※キャップには上・下がありますので、確認してください。

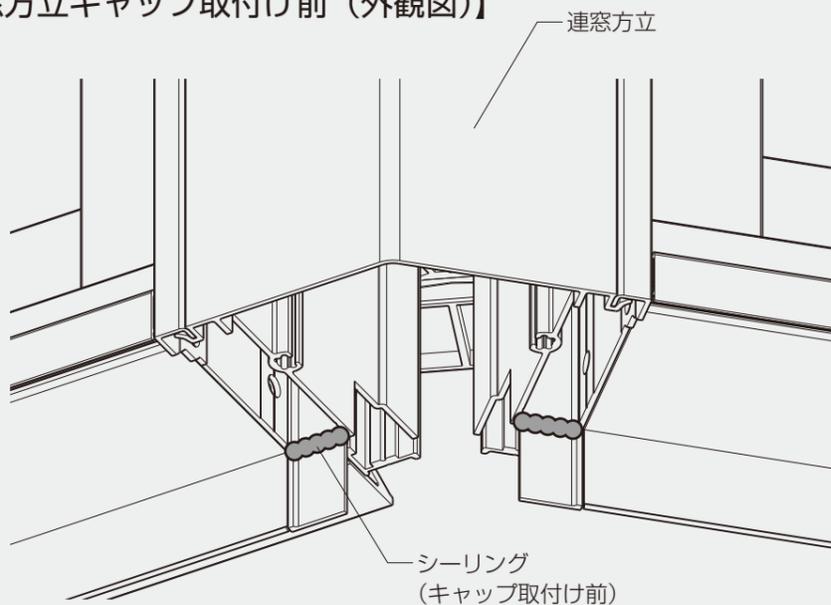


▲ 注意

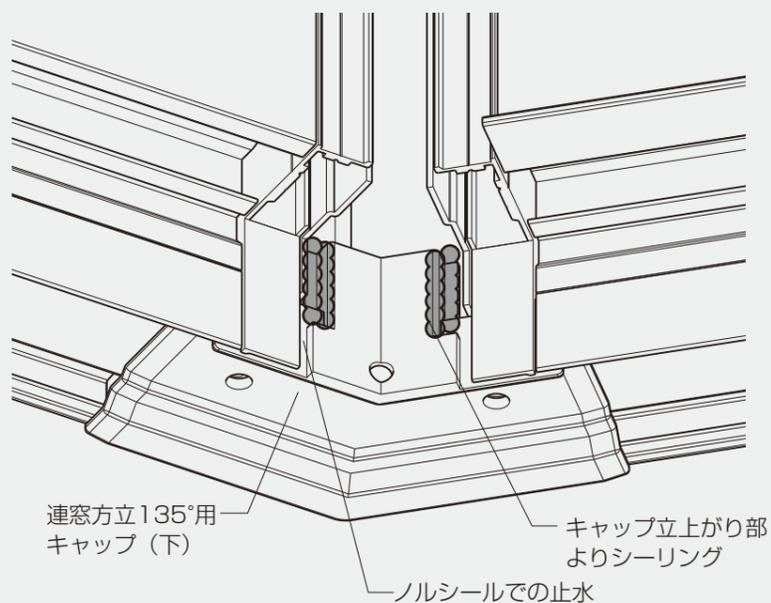
●下キャップは、止水性を確保するため、コーキング材（別途）を充てんしてください。（全品種）

〈組立て例：135°方立の場合〉

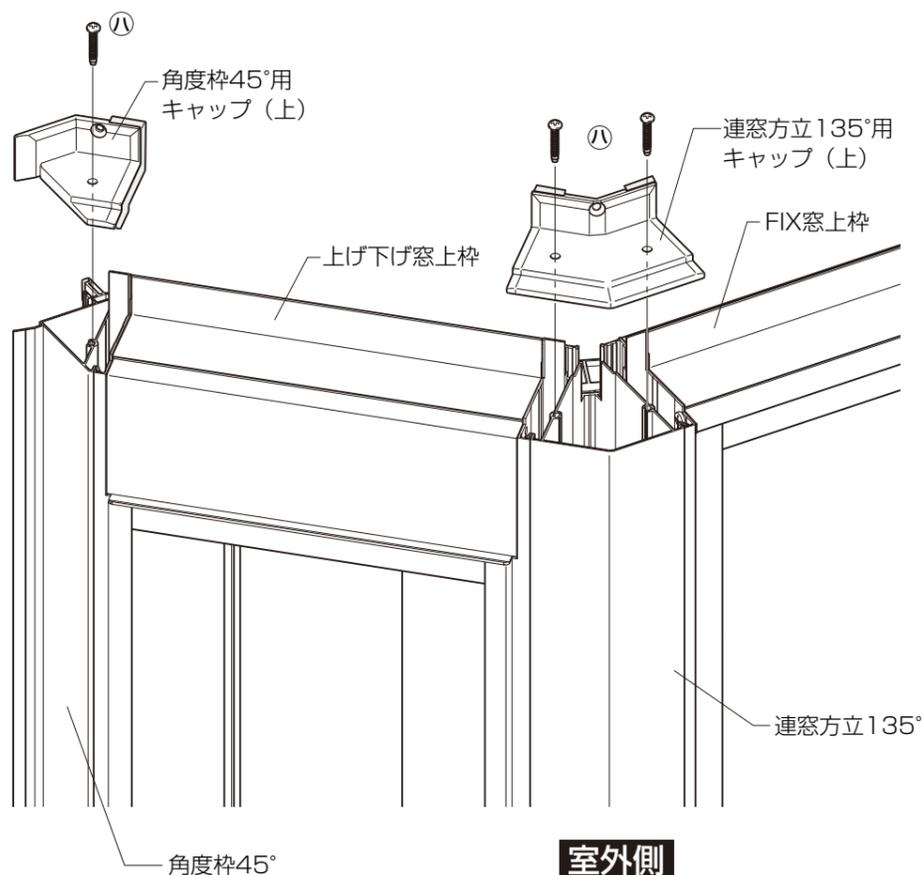
【連窓方立キャップ取付け前（外観図）】



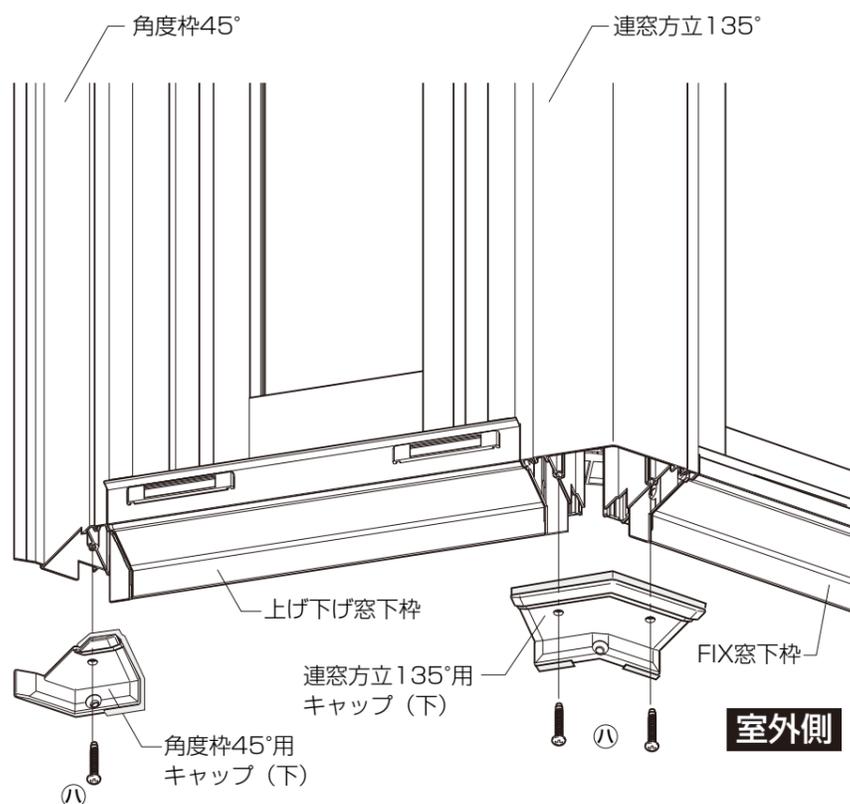
【連窓方立キャップ取付け後（内観図）】



●上キャップ取付けの場合



●下キャップ取付けの場合



●フィンの裏面より防水補助シールを張付けます。

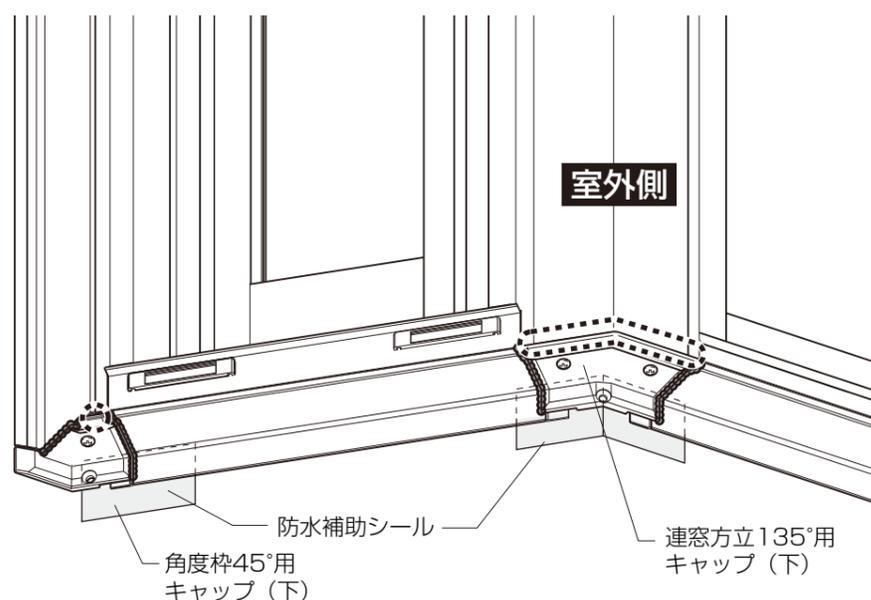
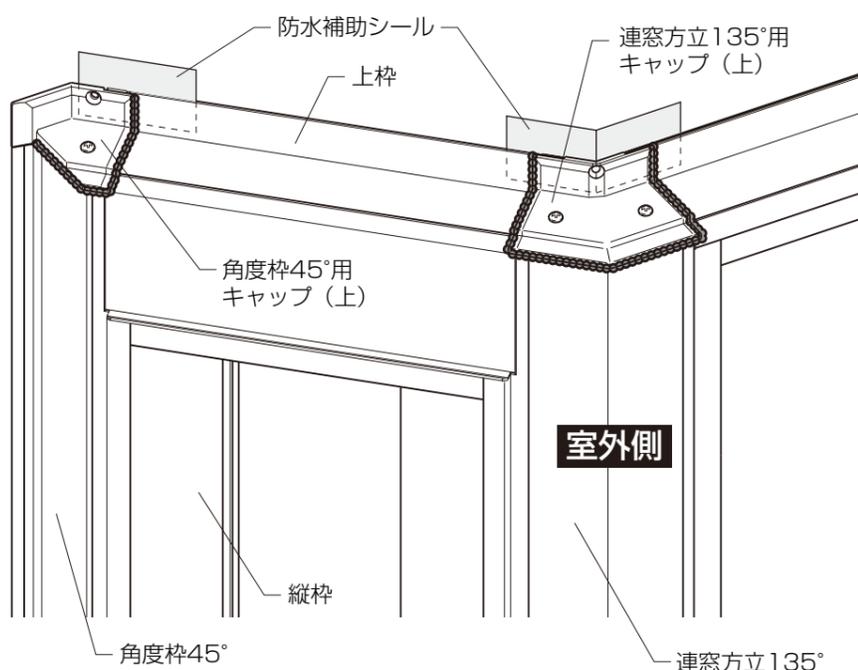
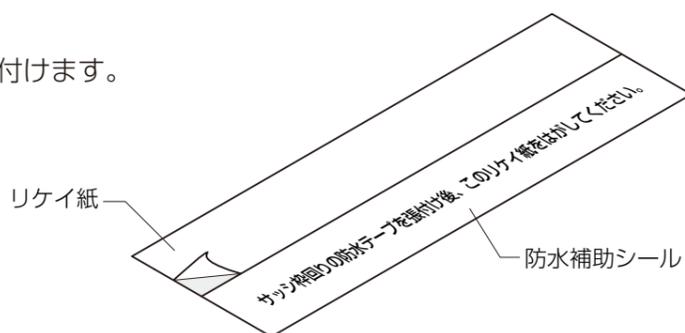
▲注意

- 上・下キャップ取付け後、指定箇所( 部)にコーキング材(別途)を充てんしてください。
- 上・下キャップ取付け後、指定箇所に防水補助シール(同梱)を張付けてください。

.....コーキング材について.....
 シリコン系コーキング材は使用しないでください。
 ポリサルファイド系の使用を推奨しますが、変成シリコン系を使用される場合は、防水テープおよび外壁とサッシとの取り合いに使用するコーキング材と付きにくい場合がありますのでコーキング材製造業者にご確認ください。

■防水補助シールの張付け

- 片側のリケイ紙を半分はがし、フィンの裏面に張付けます。
- ※必ず文字の書いていない方をはがしてください。



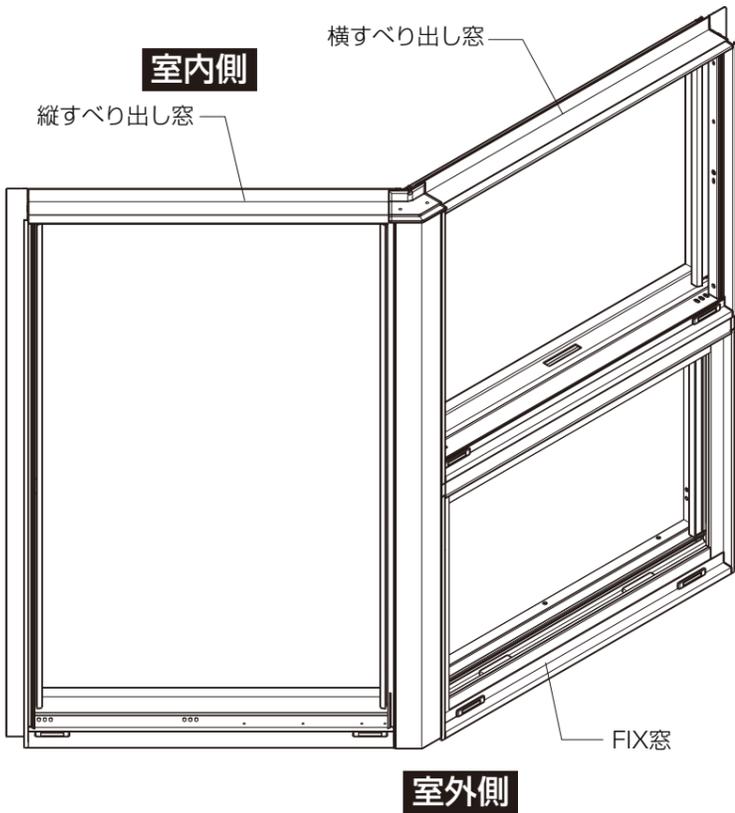
▲注意

- 排水経路を確保するため、下キャップの前面部にはシーリングしないでください。(上図  部)

■連段窓の場合の組立て順序

【組立て例：縦すべり出し窓+横すべり出し窓+FIX窓】

※障子・ガラスは、枠を躯体に固定した後に入れてください。

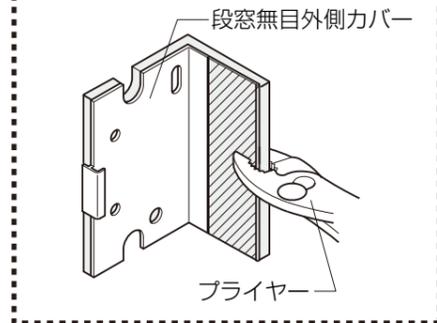


■1 段窓部の組立て

※詳細は、「段窓無目組立て説明書」を参照してください。

- ① 連結部の縦枠フィンを折取ります。
(1 縦枠フィンのカット) 参照
- ② 連結部上下 (室内側) に連窓用裏板を入れて組立てます。
(2 連窓用裏板の取付け) 参照
- ③ 段窓無目外側カバーの連結部のフィンを折取ります。
(D部詳細図)

■D部詳細図



室内側

段窓無目外側カバー

段窓無目

D部

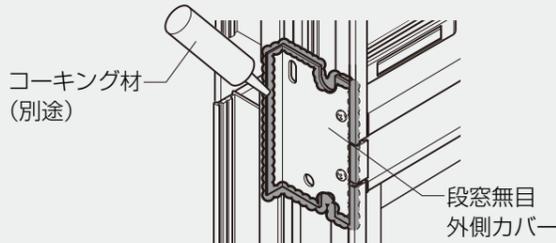
室外側

FIX窓

連結部

▲注意

- 段窓無目外側カバー取付け後、指定個所 (■部) にコーキング材 (別途) を充てんしてください。



コーキング材 (別途)

段窓無目外側カバー

コーキング材について
シリコン系コーキング材は使用しないでください。
ポリサルファイド系の使用を推奨しますが、変成シリコン系を使用される場合は、防水テープおよび外壁とサッシとの取り合いに使用するコーキング材と付きにくい場合がありますのでコーキング材製造業者にご確認ください。

■2 連結穴の穴あけ

- 段窓サッシと連窓方立の下端の穴の高さを合わせ、連窓方立に穴をあけてください。(φ4.5)

■3 連窓方立との連結

- ① 段窓の縦部材に連窓方立をはめ込みます。
- ② 縦すべり出し枠を連窓方立にはめ合わせ、下端の穴位置を合わせながら穴をすべてねじ止めします。
- ③ 段窓サッシ、縦すべり出し枠のアンクル部の穴をすべてねじ止めします。
- ④ 収縮かくしピースをカバー材上下に差込み、カバー材を連窓方立に差込みます。

